



2022年12月6日
株式会社アドバンスト・メディア

建設・不動産向けアプリケーション“声キーボード” 「AmiVoice® VKB（アミボイス ブイケービー）」をリリース 建設業界の「2024年問題」に向け、DXを促進

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木 清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、AI音声認識AmiVoiceを活用した建設・不動産向けアプリケーション“声キーボード”「AmiVoice VKB（アミボイス ブイケービー）」をリリースしました。

建設業界は、就業者数の減少と高齢化、さらに長時間労働など多くの課題を抱えています。国交省の発表^{※1}によると、就業者数は、492万人（2016年平均）で、ピーク時の97年平均と比較すると約28%の減少、さらに55歳以上は33.8%、29歳以下は10.8%と高齢化が進んでいます。また、年間の労働時間については、他産業と比較すると300時間以上長くなっています。

こうした中、2024年4月から残業労働の上限規制が適用される「2024年問題」に向け、業務効率化が急務となっています。さらに、紙の記録を多く残す習慣のある建設業界では、DXによる効率化・ペーパーレス化は生産性向上のため必須です。一方で、高齢化などが影響し、ITツールに不慣れな従業員が多く、DXが進まないといった課題も抱えています。

また、建設業界と並んで、不動産業界もFAXや紙でのやり取りなどアナログな業務が主流で、不動産テック推進が急がれています。

「AmiVoice VKB」は、建設・不動産などで働く全ての従業員にキーボード入力の効率化を提供する音声認識ソフトです。この度、医療・官公庁に続き、手軽に導入でき、誰でも簡単に扱うことができる建設・不動産向けの「AmiVoice VKB」をリリースします。複数の高精度の音声認識エンジンを搭載しており、適時、適所で使うことで利用の幅を大きく広げ、一般文章、住所、長い数字列、変換が煩わしい英字・数字・記号の混在などのキーボード入力を効率化させます。また、キーワードや音声コマンドの登録、各音声認識エンジン利用の習熟などにより、入力の効率を一段と向上させることができます。さらには、音声入力による効率化と作業の代替化がもたらす快適化により、建設・不動産の従業員での活用が広がっていくことが期待される製品です。

経済産業省は、デジタル庁を設立するなど日本全体のDXを推進する中で、リスキリング^{※2}によるDX人材育成推進を主導しています。政府が5年で1兆円の投資を行うと発表したリスキリングの対象には、キーボードなどの操作スキル向上が含まれています。

「AmiVoice VKB」は、DXの促進はもちろん、キーボード入力が不慣れな方が、音声入力によるキーボード入力スキルの向上を可能とする製品としての活用も期待されます。

また、アドバンスト・メディアは「AmiVoice VKB」を、AIと人の協働作業によって、人の能力を向上させ、人がより快適に、より創造的な業務に注力できる「AISH（アイッシュ：AI Super Humanization）」の実現を目指す製品のひとつとして位置付けています。

【「AmiVoice VKB」の主な特長】

■複数の高精度音声認識エンジンによる効率化

一般分野汎用エンジン、住所専用エンジン、英数記号専用エンジンなど、複数の高精度音声認識エンジンを実装し、従来では実現できなかったさまざまな入力対象のアプリケーションのさまざまな入力箇所での効率的な入力を実現します。

■AIに学習させることによる効率化

さらなる入力効率を実現する「テンプレート」登録や、各種音声コマンドのカスタマイズでカーソルの移動や各種ソフトの呼び出しなどが可能になります。

■使った分だけの導入しやすい料金体系

製品をインストールしたPCの台数やユーザー数に関わらず、使った分だけ課金される合理的な料金体系の導入しやすいサービスです。

■価格

月額：1ライセンス 4,950円（税込）～／初期費用0円

アドバンスト・メディアでは、さまざまな業種・業態で、DXの推進が喫緊の課題とされる中、AI音声認識と音声認識AIを核とした新たな課題解決ツールの市場導入・普及を通じて、あらゆる企業の生産性向上、そして、働き甲斐改革を経て、AIと共存するサステナブルな「人々の働き」の創造に貢献してまいります。

※1 出典：国土交通省「建設産業の現状と課題」<https://www.mlit.go.jp/common/001188729.pdf>

※2 デジタル技術の進展に伴って新しく生まれた業務に対応するスキルを身につけるために、人材の再教育や再開発を行う取り組みをしています。

以上

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代表者：代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本社：東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

URL：<https://www.advanced-media.co.jp/>

設立：1997年12月

資本金：69億3,031万円（18,392,724株）（2022年6月末現在）

事業内容：
◆AmiVoiceを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoiceを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へAmiVoiceをサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識AmiVoiceを共同で開発し事業化。2005年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェアNo.1（出典：eclarlate「音声認識市場動向2022」）の音声認識AmiVoiceを主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail : press@advanced-media.co.jp ・ TEL : 03-5958-1307	ビジネス開発センター ・ E-mail : bdc-info@advanced-media.co.jp